



デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン

2009年2月17日

**「第1回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」
グランプリ、各部門賞の受賞作品が決定
－ 「ダークナイト」がグランプリを受賞 －**

映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが加盟する次世代デジタルエンターテインメントの普及団体「デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン」（会長：塚越 隆行、以下 DEG ジャパン）は、同団体が主催する「第1回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」の授賞式を行い、受賞作品を発表しました。

受賞作品は下記の通りです。

賞	部門	受賞作品
グランプリ		ダークナイト
ベスト高画質賞	実写部門	ダークナイト
	アニメ部門	ナイトメアー・ビフォア・クリスマス コレクターズ・エディション(デジタルリマスター版)
ベスト高音質賞	音楽部門	NHK クラシカル 小澤征爾 ベルリン・フィル「悲愴」2008年ベルリン公演
	映像部門	GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊 2.0
ベスト・インタラクティブティ賞		バイオハザード デジエネレーション
審査員特別賞		NHK スペシャル 映像詩 里山Ⅱ 命めぐる水辺
		平井堅/Ken Hirai Live Tour 2008
		“FANKIN’ POP”
		ザ・マジックアワー ブルーレイディスク 眠れる森の美女 プラチナ・エディション

「DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」とは、「ベスト高画質賞」、「ベスト高音質賞」、「ベスト・インタラクティブティ賞」などを設け、ブルーレイソフトの特長を最も生かした映像作品を表彰する日本初のアワードです。審査員の投票による1次選考、合議による2次選考を経て受賞作品を決定しました。当アワードの審査委員長は AV 評論家の麻倉怜士氏が、審査委員には藤原陽祐氏や本田雅一氏、映画及び DVD 専門誌の編集長、また DEG ジャパン加盟機器メーカー会員の社員がそれぞれ担当しています。

「第1回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」受賞作品 詳細

【 グランプリ 】

『ダークナイト』／ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社 ワーナー・ホーム・ビデオ

評価ポイント:

2008年の最高のブルーレイソフトというにふさわしい、超絶のクオリティ。特にIMAX部の画質は空前のもの。今後のブルーレイソフトの画質を領導する記念碑的な作品である。

【 ベスト高画質賞 実写部門 】

『ダークナイト』／ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社 ワーナー・ホーム・ビデオ

評価ポイント:

IMAXの迫力を非常に高い解像度で表現。ブルーレイディスクならではの超高画質と圧倒的な情報量で、新世代の映像の始まりを感じさせる。(グランプリコメント参照)

【 ベスト高画質賞 アニメ部門 】

『ナイトメア・ビフォア・クリスマス コレクターズ・エディション(デジタルリマスター版)』

／ウォルト ディズニー スタジオ ホーム エンターテイメント

評価ポイント:

ブリキ、布、粘土、木材など身近な素材の質感を明瞭に描き分ける精細感を持ちながら、フィルムの持つ柔らかな質感もあますところなく再現されている。映画館では気付かなかったディテール感が巧みに表現されており、ブルーレイディスクの価値を改めて感じた。

【 ベスト高音質賞 音楽部門 】

『NHK クラシカル 小澤征爾 ベルリン・フィル「悲愴」2008年ベルリン公演』

／株式会社NHKエンタープライズ

評価ポイント:

指揮者の息遣いや演奏者の細かな仕草まで感じさせる圧倒的な情報量と臨場感。96/24のリニアPCMとはこんなに素晴らしいものかと感嘆。ステージの奥行き感、高さ感が手に取るように感じられる。演奏の隅々まで音解像度が高く、映像との相乗効果で生の迫力を感じる。

【 ベスト高音質賞 映像部門 】

『GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊 2.0』／バンダイビジュアル株式会社

評価ポイント:

上質で密度の高いサラウンド感を実現。一つひとつの音が混じりあわず、音で空間の感じまでもが明瞭に表現されている。

【 ベスト・インタラクティブティ賞 】

『バイオハザード ディジェネレーション』

／株式会社カプコン、株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

評価ポイント:

ピクチャ・イン・ピクチャ機能で本編に関連したメイキングなどが同時に見られる。素材の選択も素晴らしい。新しい映画の楽しみ方をより深いものにしてくれる。

【審査員特別賞】

『NHKスペシャル 映像詩 里山Ⅱ 命めぐる水辺』／株式会社 NHK エンタープライズ

評価ポイント:

ビデオ撮りとしては最高の高画質。きわめて透明度の高い映像で、カメラワーク、編集も良い仕事をしている。決して放送では味わえない圧倒的な情報量の多さで、自然の音、色があますことなく表現され、透明感に溢れる画質に仕上がっている。輪郭やコントラストも穏やかで強調感がないのもよい。

『平井堅／Ken Hirai Live Tour 2008 “FANKIN’ POP”』／株式会社デフスターレコーズ

評価ポイント:

フィルム感のある画調ながらノイズが載りがちな暗部の部分までクリアに再現し、ブルーレイディスクの持つ能力を引き出すことに成功している。映像と音声が無機能的に連動しており、“その場にいる”ライブの臨場感がきわめてリアルに伝わってくる。24P のフル HD 収録はいかにもブルーレイディスク向き。

『ザ・マジックアワー ブルーレイディスク』／株式会社 フジテレビジョン

評価ポイント:

完全セット撮影による計算し尽された柔らかな光の回し方があるがままに再現。付録映像を削って本編のビットレートを優先したというオリティ志向の規格に拍手を送りたい。日本作品としてはトップクラスの画質。しっとりとした質感、ノイズの少なさは特筆。THX 作品。

『眠れる森の美女 プラチナ・エディション』

／ウォルト ディズニー スタジオ ホーム エンターテイメント

評価ポイント:

70 ミリフィルムの持つ高い表現力を、最高峰のレストレーション技術によって蘇らせた高度な作品。オリジナルはここまでの情報があったのかと感嘆。VHS、LD では見えなかったディテールがブルーレイディスクでは表現され、50 年振りの新しい発見が楽しい。ブルーレイディスクの価値を再発見させた。サラウンドへと再編集された音の復元技術も見事。

「第 1 回 DEG ジャパン・アワード / ブルーレイ大賞」概要

1. 審査委員

審査委員長

麻倉 怜士 (AV 評論家)

審査委員

藤原 陽祐 (AV 評論家)

本田 雅一 (AV 評論家)

明智 恵子 (株式会社キネマ旬報社 キネマ旬報 編集長)

米崎 明宏 (株式会社近代映画社 スクリーン 編集長)

小川 純子（株式会社角川マガジズ DVD 一た編集部 編集長）
齊藤 英夫（株式会社日之出出版 DVD VISION 編集部 編集長）
DEG ジャパン 機器メーカー会員
（順不同、敬称略）

2. ノミネート対象商品

2008 年 1 月 1 日～12 月 31 日の間に国内で発売・販売されたブルーレイ作品

【DEG ジャパンについて】

デジタル・エンターテインメント・グループ・ジャパン (DEG ジャパン) は、次世代のデジタルエンターテインメント市場のさらなる成長を目的に、映像コンテンツメーカーや映像機器メーカーが一体となって活動を行う業界団体です。2008 年 6 月に発足し、現在計 31 社が加盟しています。

DEG ジャパンの活動の詳細並びに最新のブルーレイソフト情報については、
<http://www.deg-japan.jp/> でご覧いただけます。

本件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先:

DEG ジャパン広報事務局

(株式会社プラップ ジャパン 内)

担当: 坂井 伸也、佐伯 卓也、藤沢 佳隆

電話: 03-3486-6839 e-mail: DEG@prap.co.jp